

Kiho



広報きほう

Public Relations Kiho 2013 vol.84

1月号



200 SMILES

今年もキラリ！笑顔のスター

災害に強い町を構築します

新年あけましておめでとう
ございます。

皆様におかれましては、新春を健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。また、平素は町行政に対する深いご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

未曾有の大災害となりました、一昨年9月の台風第12号災害から1年あまりが経過いたしました。被災された皆様の心の傷は、いまだに癒されていないものと思われませんが、本町にとって昨年は、この災害からの復旧と復興を最重要課題と位置づけ、庁内に災害復興プロジェクトチームを設置して、事業の一体的、総合的な調整と推進を図ってまいりました。さらに、策定いたしました「紀宝町平成23年台風第12号災害復旧・復興計画」により、新たな町の再生と発展、町民が安全で安心に暮らすことのできる環境整備を計画的に進めてまいります。

また、近い将来に発生が予測されております南海トラフを震源とする地震や津波、台風災害などの大規模な災害に備えるため、「紀宝町地域防災計画」の見直しに着手するとともに、本庁舎に接続した防災

拠点施設の建設、長期間の断水を想定し防火水槽の機能を兼ね備えた緊急用飲料水貯水槽の整備、御船配水池等への緊急遮断弁設置、加圧式給水車の導入などハード面の充実に努めるとともに、自主防災組織の育成に努めて、自助・共助・公助を基本とした体制を皆様と手を携えて推進し、災害に強い町を構築してまいります。

一方、災害リスクの低減を図るために、昨年11月、石川県中能登町と災害時相互応援協定を締結いたしました。同町とは、災害時の提携に加えて、イベントや物産など、官民合わせたさまざまな交流を深めてまいります。

東紀州地域の生活基盤の根幹は、道路網の整備と言っても過言ではありません。先人たちが注いでまいりました熱意が、ついに平成25年度に実現いたします。近畿自動車道紀勢線が南に延伸されるとともに、国道42号熊野尾鷲道路が完成。また、昭和47年度の事業化以来、悲願となっておりました紀宝バイパスが遂に開通いたします。さらに、成川歩道整備工事も完成いたします。今後もし引き続き、紀勢線新宮から熊野大泊間の事業

化を強く要望していかなければなりません。

農林水産商工業の皆様が結集し、紀宝バイパスの開通を見据えた集客対策の一環となる、「紀の宝みなと市」が鵜殿港を会場に始まりました。地域の活性化や地産地消を推進してまいります。

少子高齢化社会は急速に進行しております。本町では、子ども医療費助成対象者を小学校卒業までとしておりましたが、平成25年度からは中学校卒業までに拡大してまいります。また、ファミリーサポートセンターの充実を図るなど、子育てを積極的に支援し、子どもを産み育てやすい紀宝町を形作ってまいります。

木のぬくもりがあふれた、成川小学校校舎が完成いたしました。児童の皆さんは、3学期から新しい学び舎で学習が始まります。深田運動場は、台風第12号災害により施設が被災し、また土砂・災害廃棄物等の仮置場として使用しておりましたため、近隣の皆様を始めご利用の皆様にも多大なご迷惑とご不便をおかけしておりますが、その復旧整備を図ってまいります。

昨年は、多くの教訓を胸に

刻みながら、町民の皆様と行政とが協働して、災害からの復旧と復興、防災や減災に取り組んだ年となりました。新たな年、平成25年は、町づくりの指針となる「第一次紀宝町総合計画後期基本計画」を策定し、町の将来像である「海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」の実現を目指してまいります。

最後になりましたが、この1年がすべての町民の皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げますとともに、一層の努力添えをお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

紀宝町長

西田健

台風第12号災害の

復旧・復興事業の状況

復旧・復興への階段を一步步つ登り続けています

一昨年の平成23年台風第12号では、過去に経験したことのないような大惨事に見舞われました。町では、大きな被害から復旧・復興するため各種制度を活用してさまざまな事業を進めています。

今月号では、現在の町や国・県が取り組んでいる事業の進捗状況についてお知らせします。

建設・農林関係

町内いたるところで発生しました道路崩落や山崩れ、河川護岸崩壊につきましては、現在、発注・工事を進めており、平成24年11月20日現在の発注率は、179件中146件で81・6%です。

主な災害復旧工事の進捗として、県道小船紀宝線は、19か所中10か所の発注を終え、残りにつきましても順次発注を行い、平成26年3月の完成を目指しています。

また、災害関連緊急砂防事業により工事を行っている、浅里地区大和田、高岡地

区ジャング谷、神内地区里地谷につきましては、平成25年3月に砂防堰堤が各1基ずつ完成する予定ですが、継続して溪流保全工等を整備していく予定です。

農地災害復旧工事につきましては、河川災害復旧工事等との調整を行っている未発注の3か所について、関係受益者と調整を図りながら早期復旧に努めていきます。

また、農林水産業者への事業再建支援につきましては、関係機関協力のもと、被災直後に意向調査を実施し、水稲経営を行っている共同乾燥調製施設と育苗センタ

1の復旧が最重要課題であることを把握させていただきました。ライ

所を紀宝町井内地区へ移転し、平成24年産米に対応できるよう、三重南紀農業協同組合が主体となって運営に取り組んでいただきました。

林道施設災害復旧工事につきましては、北松杖浅里線、桐原浅里線で13か所すべての発注を終え、平成25年3月の完成を目指しています。

県道鵜殿熊野線

町内の県道鵜殿熊野線においては、神内大里間の山道で6か所の土砂崩れなどが起こりましたが、全て工事中であり、平成25年3月末までの完成を予定しています。

◆ 主要道路復旧予定図

【平成24年12月7日現在】

※熊野市紀和町側へは、平成26年3月末までには通行可能とする予定

県道紀宝川瀬線

町内の県道紀宝川瀬線においては、被害をうけた2か所がすでに工事中であり、平成25年3月末までの完成を予定しています。

県道小船紀宝線

町内の県道小船紀宝線においては、19か所が土砂崩れや路側崩壊の被害を受けました。10か所の発注を終え、うち4か所が完成（部分完成を含む）しています。残りの工事についても平成26年3月末までの完成を予定しています。

生活再建支援関係

家屋被害認定調査結果（全壊61世帯、大規模半壊313世帯、半壊482世帯、半壊に至らない148世帯、合計1,004世帯）に基づき、「被災者生活再建支援金（基礎支援金・加算支援金）」（国の制度）の申請受け付けを行い、391世帯に対して支援金が支給され、支援金総支給額は、平成24年11月20日現在、5億5,762万5,000円となつています。

家屋が全壊・流失した世帯には、災害救助法による「民間賃貸住宅借り上げによる応急仮設住宅」により救助を継続しています。平成24年11月30日現在、11世帯18人が、町が借り上げたアパート等に入居いただいておりますが、引き続き1日も早い生活再建に向けて取り組んでいきます。

上水道関係

取水施設の本復旧工事につきましては、平成24年10月に完成し、通常どおり運転しています。また、被災した3か

防災無線関係

所の送配水管の本復旧工事については、道路の復旧工事や河川の護岸復旧工事に併せて、平成23年度に1か所（阪松原地区）、平成24年度に2か所（成川七瀧地区・神内地区）を施工し、今年度中には水道施設すべてにおいて復旧する予定となっています。

孤立地区対策として、熊野川流域の孤立した地区に衛星携帯電話を整備し、情報伝達手段の多重化を行いました。



衛星携帯電話

医療・健康づくり関係

被災後の健康被害対策およびこころのケア事業として、避難所巡回健康相談、家庭訪問、夜間健康相談などを行いました。

災害ごみ関係

災害廃棄物の搬入の申し込みをしたにも関わらず、家屋の解体や修復ができずに搬入が遅れてしまう被災者が多か

集会所関係

各地区の集会所施設については、7施設（桐原、大里、鮎田、北松杖、浅里、下地、中村）が浸水などの被害を受けましたが、平成24年11月をもってすべての復旧が完了しました。



平成24年11月に、ホールや和室、調理室、トイレなど全てが完全復旧した浅里生活改善センター。

復旧・復興計画

台風災害から復旧・復興をすみやかに推進し、かつ災害に強いまちを構築して、地域

住民のみなさまが安心して、安全に暮らせるまちの実現を図るため、平成24年4月から紀宝町災害復興プロジェクトチームを設置し、各種事業の連携・強化、進捗状況の調整管理などを行っています。

台風第12号における未曾有の災害の体験を教訓とし、自然災害を施設等の整備によって、防御するだけではなく、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方に基づくなかで、被災者の復旧・復興に取り組み、一刻も早い被災者の生活再建を図るとともに、新たな町の再生と発展を目指し、町民が安全で安心に暮らせることのできる環境整備を計画的に進めていくために、平成24年12月末に、「紀宝町平成23年台風第12号災害復旧・復興計画」を策定しました。

今回策定した「復旧・復興計画」は、「紀宝町総合計画」、「紀宝町地域防災計画」と整合性を図りながら必要に応じて見直しも行っていきます。

詳細につきましては、今後の広報紙で掲載させていただきます。

衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査 選挙結果

衆議院の解散による衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査の投票が 12 月 16 日に執行されました。町の投票率（衆議院小選挙区選出議員選挙）は 68.56% で、前回に比べ、9.15 ポイント減少しました。

◆投票状況（紀宝町）

		当日有権者数	投票者数	投票率（%）
衆議院小選挙区 選出議員選挙	今回	9,740	6,678	68.56
	前回	10,108	7,855	77.71
衆議院比例代表 選出議員選挙	今回	9,740	6,678	68.56
	前回	10,108	7,854	77.70
最高裁判所 裁判官国民審査	今回	9,726	6,486	66.69
	前回	10,093	7,583	75.13

◆衆議院小選挙区候補者別の得票数（届出順）

	候補者名	届出政党の名称	得票数
1	内藤 こういち	日本共産党	541
2	三ツ矢 のりお	自由民主党	4,092
3	ふじた 大助	民主党	1,841
	計		6,474

◆衆議院比例代表政党等別の得票数（届出順）

	政党等の名称	得票数
1	日本維新の会	1,345
2	みんなの党	370
3	自由民主党	2,050
4	幸福実現党	25
5	公明党	1,061
6	日本共産党	320
7	社会民主党	66
8	民主党	1,050
9	日本未来の党	229
	計	6,516

▶詳しくは、紀宝町選挙管理委員会事務局 役場総務課（☎ 3 3 - 0 3 3 3）までお問い合わせください。

あなたの悩みを聴かせてください！

こころの健康相談を開催します

熊野保健福祉事務所では、こころに悩みをもつ人自身、およびこころの病気が疑われるが本人に自覚がないため、対応に苦慮している家族などを支援することを目的に、下記のとおり精神科医師による「こころの健康相談」を開催します。

- ◆日時 1 月 19 日（土）午後 1 時から午後 4 時
- ◆場所 紀宝町役場 1 階 相談室
- ◆内容 熊野病院 福田衆一院長による「こころの健康相談」（無料）

◆対象者

こころに悩みをもつ人、およびその家族など
※ただし、すでに治療中で主治医のいる方はご遠慮ください。

◆申込期限

1 月 10 日（木）までに熊野保健福祉事務所保険衛生室健康増進課へお申し込みください。

▶詳しくは、熊野保健福祉事務所保険衛生室健康増進課（☎ 0 5 9 7 - 8 9 - 6 1 1 5）までお問い合わせください。



かど さかし
門 賢 さん（成川）

長年にわたる青少年の健全育成活動が評価されて、県内初の内閣総理大臣表彰を受けた門さん。受賞は、「子どもたちからもらった賞です」と笑顔で話してくれました。

子ども若者育成・子育て支援功勞
内閣総理大臣表彰受賞
これから
子どもたちの夢を
守っていききたい

内閣府の平成 24 年度子ども若者育成・子育て支援功勞者表彰で、工務店経営・門賢さん（成川）が、三重県内で初めて内閣総理大臣表彰を受賞しました。本年度は全国で 34 個人・団体などが選ばれ、このうち 5 個人・団体が内閣総理大臣表彰を受け、門さんは個人で唯一の受賞となりました。

この賞は、子どもや若者を育成支援する活動、および子育てと子育てを担う家庭を支援する活動に取り組み、顕著な功績があった企業、団体または個人を表彰するもので、11 月 21 日に総理大臣官邸で行われた表彰式では、野田総理から直接、門さんへ表彰状が授与されました。

門さんは、昭和 61 年から紀宝地区警察協助力員を始め、町青少年健全育成推進指導員、町青少年育成町民会議会長、成川子ども見守り隊、紀南地区青少年育成市町会議会長など、青少年の健全育成に長年貢献してきました。

また、自ら経営する工務店作業場を、子どもたちの「もの作り」の体験活動の場として開放しているほか、学校や家庭での悩みなどの相談にのることもあり、不登校やいじめ、非行など

の解決に力を注いできました。受賞に際し門さんは、「受賞は、自分の作業場に来て遊んでいてくれる子どもたちからもらったようなもの」と喜びつつ、「駅伝チームや野球チームを作り、損得を考えずに近所の子どもたちの面倒を見てきたが、妻はそのための支出にも一切口をださずに協力してくれました」と妻・生（せい）さんに感謝していました。また、「これからも、子どもたちの夢を守っていききたいです」と話していました。



11 月 21 日、野田総理から直接、門さんへ表彰状が授与されました

<合算の対象となる世帯の例>

< 例 >

対象年度の末日（7月31日）に加入している保険

- ・ A さん（世帯主）、国民健康保険加入
- ・ B さん（A さんの妻）、国民健康保険加入
- ・ C さん（A さんの父）、後期高齢者医療制度加入
- ・ D さん（A さんの母）、後期高齢者医療制度加入
- ・ E さん（A さん家の長男）、国民健康保険加入
- ・ F さん（A さん家の次男）、社会保険加入

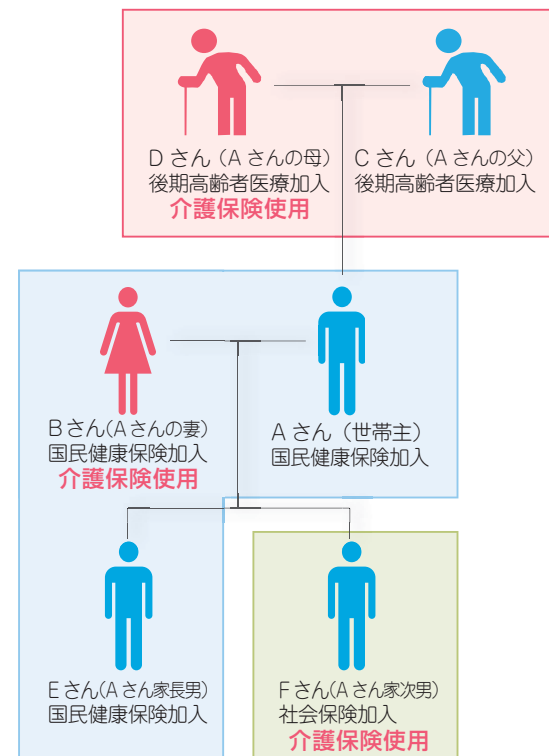
上記世帯で B さん、D さん、F さんがそれぞれ介護保険を使用した場合は、下記のように医療費および介護費を合算します。

● A さん、B さん、E さんの医療費・介護費を合算
※図の青枠（国民健康保険加入分）

● C さん、D さんの医療費・介護費を合算
※図の赤枠（後期高齢者医療制度加入分）

● F さんの医療費・介護費を合算
※図の緑枠（社会保険加入分）

A さんの世帯



医療と介護の両方のサービスを利用している世帯の負担を軽減する制度

高額医療・高額介護合算制度

「高額医療・高額介護合算制度」は、1 年間にかかった医療費と介護サービス費の合算額が著しく高額になる場合の負担を軽減する制度です。

◆ 支援要件

毎年 8 月 1 日から翌年 7 月 31 日までの 1 年間に、医療保険（国民健康保険・被用者保険・後期高齢者医療制度等）と介護保険における自己負担の合算額が下記の表の基準額を超える場合、申請によりその超えた額が支給されます。

ただし、基準額を超えた金額が 500 円未満の場合は、支給されません。また、世帯内で、医療保険と介護保険のどちらかの負担額が 0 円の場合は支給されません。

			基準額		
			後期高齢者医療制度 + 介護保険	被用者保険または国保 + 介護保険 (70～74 歳の方がいる世帯)	被用者保険または国保 + 介護保険 (70 歳未満の方がいる世帯)
所得区分	現役並み所得者 (上位所得者)		67 万円	67 万円	126 万円
	一 般		56 万円	62 万円 → 56 万円※	67 万円
	低所得者 住民税 非課税世帯	Ⅱ	31 万円	31 万円	34 万円
		Ⅰ	19 万円	19 万円	

※ 70 歳から 74 歳の患者負担の見直し（1 割⇒2 割）の凍結のため、平成 24 年 7 月までは 56 万円を基準額とする。

◆ 申請受付窓口

申請は、対象年度の末日（7月31日）に加入していた医療保険（国民健康保険・被用者保険・後期高齢者医療制度等）の窓口で行います。

◆ 申請前に他の窓口で手続きが必要な場合があります

平成 23 年 8 月～平成 24 年 7 月の間で、ご加入の医療保険や介護保険に変更があった場合などは、期間中加入していたそれぞれの保険（制度）の窓口にて自己負担額証明書の交付を受けて、申請書に添付していただく必要があります。

◆ 支給の対象となる方へのお知らせおよび申請手続きについての留意点

支給の対象となる国民健康保険被保険者の方には、平成 25 年 1 月ごろに、後期高齢者医療制度被保険者の方には、平成 25 年 1 月下旬にお知らせする予定です。

ただし、次に該当する方には、申請の対象となる旨のお知らせができない場合があります。支給要件を参考にして支給の対象となるかどうかご確認いただき、具体的な手続きやご不明な点については、役場福祉課までご相談ください。

- 平成 23 年 8 月から平成 24 年 7 月までの間に、市町を越える転居をした方、もしくは他の医療保険（制度）から移られた方 ※医療、介護それぞれで期間中に複数の加入保険がある方
- 後期高齢者医療制度に加入されている方で、住所地と介護保険の市町が違う方（介護保険住所地特例者）

▶ 詳しくは、役場福祉課（☎ 3 3－0 3 3 9）までお問い合わせください。

1 基準額の所得区分は、**対象年度の末日（7月31日）に加入する医療保険**の高額療養費の所得区分です。

2 70 歳未満の方の医療費は、高額療養費の計算条件と同じく 1 か月 21,000 円以上の自己負担分のみ合算対象となります。

3 高額介護（介護予防）サービス費や高額療養費が支給された場合は、差し引いた額が対象となります。

4 以下の負担は、高額医療・高額介護合算制度の対象とはなりません。

- ・ 福祉用具購入費、住宅改修費の負担分
- ・ 施設サービスなどでの食費、居住費（滞在費）、そのほか日常生活費
- ・ 要介護区分別の支給限度額を超えてサービスを利用したときの利用者負担
- ・ 入院時の食事負担や差額ベッド代、その他保険適用外の支払い額

5 合算対象は住民票上の世帯ではありません。対象となる世帯は、医療保険制度（国民健康保険・被用者保険・後期高齢者医療制度等）ごとの世帯です。

雑損控除等に関する申告相談会を開催



平成 23 年 9 月の台風第 12 号および第 15 号により被害を受けた個人の方を対象とした確定申告相談会を下記の日程で開催します。災害により住宅や家財などに損害を受けた方は、確定申告で所得税の全部または一部を軽減することができます。また、翌年度の住民税の一部を軽減することができます。

【日時】 1 月 28 日（月） 午前 10 時から午後 4 時まで
1 月 29 日（火） 午前 9 時から午後 4 時まで
【場所】 役場 2 階小会議室

ご用意いただくもの

◆平成 24 年分の確定申告で初めて雑損控除を受ける方

- ・被害を受けた住宅の取得年月、取得価格、床面積および自家用車の取得年月、取得価格が分かるもの
- ・平成 23、24 年中に支出した修繕費等の災害関連支出の領収証等
- ・保険金等で補てんされる金額がある場合、その金額が分かる書類
- ・罹災証明書^{りさい}の写し（罹災証明書の発行を受けられない方は、被害状況の分かるもの）
- ・源泉徴収票などの確定申告関係の書類（平成 23・24 年分）
- ・振込先金融機関の口座番号（申告する方の名義の口座に限りです。）の分かるもの
- ・印鑑（認印）

▶詳しくは、尾鷲税務署個人課税第一部門（☎0597-22-2224）、もしくは役場税務住民課（☎33-0337）までお問い合わせください。

◆平成 23 年分の確定申告で雑損控除を受けた方

- ・平成 23 年分確定申告書の控え
- ・平成 23 年分確定申告書に添付した「被災した住宅、家財等の損失額の計算書」の控え
- ・平成 24 年中に支出した修繕費等の災害関連支出の領収証等
- ・源泉徴収票などの確定申告関係の書類（平成 24 年分）
- ・振込先金融機関の口座番号（申告する方の名義の口座に限りです。）の分かるもの
- ・印鑑（認印）



消費者トラブルを未然に防ぐために

菊地弁護士による消費者問題講演会開催

近年、悪質業者の手口も巧妙化してきており、架空請求やしつこい自宅への電話勧誘などの消費者トラブルが増加し、被害もあとを絶ちません。そこで町地域包括支援センターでは、消費者トラブルを未然に防ぐため、テレビなどでおなじみの菊地幸夫弁護士を講師にお迎えし、消費者問題講演会を右記のとおり開催します。参加費は無料です。ぜひご来場ください。

- ◆日時 2 月 11 日（月）
午後 1 時 30 分～午後 4 時（午後 0 時 30 分開場）
- ◆場所 まなびの郷 きらめきホール
- ◆講師 菊地幸夫^{きくちゆきお} 弁護士
- ◆定員 200 人
- ◆申込 1 月 7 日（月）から 1 月 31 日（木）までに、町地域包括支援センターへお申し込みください。
- ▶詳しくは、町地域包括支援センター（☎33-0175）までお問い合わせください。

紀宝町嘱託職員（運転士・保育士）を募集します

町では、平成 25 年 4 月 1 日採用の嘱託職員（運転士・保育士）を募集します。

◆採用予定年月日

平成 25 年 4 月 1 日

◆給与および服務

本町の嘱託職員取扱要綱および服務規程による

◆職種及び採用予定人員・受験資格

次の各職種等におけるすべての条件をみたす者で、地方公務員法第 16 条の欠格条項に該当しない者。詳しくは、下記の表のとおりです。

◆受付

期間 平成 25 年 1 月 7 日（月）から平成 25 年 1 月 23 日（水）まで（土曜、日曜、祝日を除く、午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで。郵送の場合は書留とし、締切日必着）

場所 紀宝町役場総務課（紀宝町鶴殿 324 番地）

◆試験の日時および場所

日時 平成 25 年 2 月 17 日（日）午前 9 時開始
会場 紀宝町役場本庁舎（紀宝町鶴殿 324 番地）

①職 種 等	運転士（清掃業務）	保育士
②採用人員	1 名	若干名
③年齢条件	昭和 32 年 4 月 2 日以降に生まれた者	昭和 47 年 4 月 2 日以降に生まれた者
④住所条件	平成 24 年 12 月 1 日現在において、受験者本人が紀宝町に住所（住民登録）を有する者	紀宝町への通勤が可能な者
⑤資格条件	自動車運転免許（普通）を有し、2～3 トン車の運転ができる者	保育士の資格を有する者、または平成 25 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
⑥必要書類	・ 申込書兼履歴書（※） ・ 健康診断書（※） ・ 自動車運転免許証の写し（1 通） ・ 本人の住民票（1 通） ・ 写真 2 枚（縦 4 センチ×横 3 センチのサイズで、3 か月以内に撮影した無帽上半身のもの。1 枚は申込書兼履歴書に貼付して提出。）	・ 申込書兼履歴書（※） ・ 健康診断書（※） ・ 保育士証の写し、または保育士資格取得見込み証明書（1 通） ・ 写真 2 枚（縦 4 センチ×横 3 センチのサイズで、3 か月以内に撮影した無帽上半身のもの。1 枚は申込書兼履歴書に貼付して提出。）
⑦試験内容	適性検査（択一式）、作文試験、面接試験	専門試験（択一式）、作文試験、面接試験

※申込書兼履歴書（全国高等学校統一用紙使用可）および健康診断書については、役場総務課に受付期間締切日まで備え付けています。

▶詳しくは、役場総務課（☎33-0333）までお問い合わせください。

紀宝町防災無線音声応答装置

防災行政無線が電話で確認できます



町では、防災行政無線放送の難聴地区解消対策のひとつとして、自宅電話や携帯電話からフリーダイヤルにより、放送内容を確認できるシステム（音声応答装置）を導入しています。放送の内容が聞きづらい、わからないときは、フリーダイヤルで同じ放送を聞くことができます。

フリーダイヤル **☎0120-334-119**

▶詳しくは、役場総務課防災対策係（☎33-0335）までお問い合わせください。

素敵な人に出会えるかも！

出会い交流イベントを開催！



町では、独身の男女を対象に、出会い交流イベント「ソフトバレー・d e・愛パーティー」を開催します。スポーツ（ソフトバレー）でみんな一緒に汗を流し、盛り上がった後は会場を移しての交流パーティーへ♪食べて、飲んで、楽しいひとときをお過ごしください！

きっと素敵な出会いが待っているはずです。気軽にお申し込みください。

- ◆日時
2月3日（日） 午後2時～午後8時30分
- ◆会場
紀宝町立鵜殿体育館、鵜殿地域交流センター
- ◆集合
午後2時までに紀宝町役場駐車場有
- ◆募集人数
30名（男女各15名）程度
※町外の方も歓迎。申込者多数の場合は抽選。
- ◆対象年齢
20歳～45歳くらいまで（独身限定）
- ◆内容
ソフトバレー・交流パーティー・レクリエーションなど
- ◆参加費
男性 2,000円 女性 1,000円
- ◆申込方法
住所、氏名、年齢、性別、電話番号、をご記入のうえ、メールかFAX、または電話にてお申し込みください。
- ◆申込期限
1月18日（金）午後5時までに役場企画調整課までお申し込みください。
- ▶詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334、FAX 32-1102、メール kikaku@town.kiho.lg.jp）までお問い合わせください。

ひと味違ったお味噌を♪

第12回 味噌づくり講習会開催！



今年も、紀宝町みそ加工グループの主催で、三重県産の大豆や熊野産の米を使った、安全で安心できる味噌づくり講習会を次のとおり開催します。ぜひご参加ください。

- ◆講習日
①1月20日（日）、②1月26日（土）
③2月 2日（土）
（時間は3日とも、午前11時30分～午後3時）
- ◆講習場所
三重南紀農協紀宝支店グリーンプラザ
- ◆募集期間
1月4日（金）から1月11日（金）まで
- ◆定員
いずれの講習日も、先着25人まで受け付けます。
※定員になり次第締め切ります。
- ◆申し込み先
役場産業建設課まで、氏名、住所、電話番号、希望講習日をご連絡ください。
- ◆参加費
5,400円（材料代、施設設備使用料、受講料等）
※出来上がりは10.5kgで、食べられるようになるまで、6か月以上自宅で保管していただきます。
- ◆準備物
入れ物（18～20型ポリ容器）、エプロン、三角巾、筆記用具、室内用靴、マスク
- ◆作業内容
大豆の煮炊き、^{こうじ}麹と大豆の^{かくはん}攪拌、容器入れなど。※麹はこちらで用意します。※昼食は、済ませてきてください。
- ▶詳しくは、役場産業建設課（☎33-0336）までお問い合わせください。

元気だからと安心していませんか？この機会にぜひ受診してください！

胃・前立腺・大腸・乳・子宮頸がん検診を実施

【申込期間】 2月4日（月）から2月15日（金）まで

【検診日】 2月28日（木）

【検診場所】 大里多目的集会所

検 診 内 容	受付時間	定 員	料 金
◆胃がん ※前夜9時以降何も飲食しないでください	午前7時30分～9時	55人	40歳～69歳 …500円 40歳未満 ……1,400円
◆前立腺がん ※採血による検査です		55人	40歳～69歳 …500円 40歳未満も同額
◆大腸がん ※申し込みが必要です。申し込まれた方には問診票と容器を送付します ※2月3月の検診は容器が変更になります。これまでに配布した容器は使用できないのでご注意ください	午前9時～11時30分 午後1時30分～3時	70人	40歳～69歳 …200円 40歳未満も同額
◆乳がん（マンモグラフィ検査） ※バスタオルを持参してください	午後1時30分～3時	40人	40歳～69歳 …1,500円 40歳未満も同額
◆子宮頸がん ※子宮入り口部分にできる『子宮頸がん』を採取器具で細胞をこすり取って調べます		55人	20歳～69歳 …500円 20歳未満 ……1,000円

【検診日】 3月5日（火）

【検診場所】 保健センター

検 診 内 容	受付時間	定 員	料 金
◆大腸がん ※申し込みが必要です。申し込まれた方には問診票と容器を送付します ※2月3月の検診は容器が変更になります。これまでに配布した容器は使用できないのでご注意ください	午後1時30分～3時	50人	40歳～69歳 …200円 40歳未満も同額
◆乳がん（マンモグラフィ検査） ※バスタオルを持参してください		40人	40歳～69歳 …1,500円 40歳未満も同額
◆子宮頸がん ※子宮入り口部分にできる『子宮頸がん』を採取器具で細胞をこすり取って調べます		55人	20歳～69歳 …500円 20歳未満 ……1,000円

- ※70歳以上は全ての検診が無料です。
- ※予約が必要です。定員になり次第締め切らせていただきます。
- ※町が行う各がん検診の受診回数は、1人あたり年1回とさせていただきます。
- ※がん検診受診時には青色の『受診スタンプカード』をご持参ください。
- ※「大腸・乳・子宮頸がん無料クーポン」をお持ちの方はご持参ください。

がん検診無料クーポンの使用期限が迫っています！！

- ◆がん検診の無料クーポンの使用期限は平成25年3月31日（日）までです。
- ◆紛失された方は再発行できますので、保健センターまでお問い合わせください。



無料クーポン券

▶詳しくは、保健センター（☎32-3700）までお問い合わせください。

浄化槽

「きれいな川を
未来に残そう」
その⑥

今月のテーマ

高度処理型で きれいな川を後世に

現在、町では『紀宝町営浄化槽整備推進事業』による浄化槽整備を行っています。
同事業では、処理能力の優れた高度処理型浄化槽での浄化槽整備の推進を図っています。
町の水環境を守って行くためにも、同事業での浄化槽の設置整備にご協力ください。



高度処理型浄化槽は 単独の16倍の処理能力

町が同事業で設置している浄化槽は、『高度処理型浄化槽』といって、従来型の合併処理浄化槽よりも処理能力が優れた浄化槽を採用し、町の水環境の保全に努めています。

この浄化槽は、し尿のみを処理する単独処理浄化槽を設置している世帯からの処理水中の汚れの量が一日あたりBODで32gであるのに対して、高度処理型では2gにまで処理され

るので、その処理能力は16倍にもなります。

また、これまでに個人設置型で設置されてきた、し尿と生活雑排水を処理する従来型の合併処理浄化槽では処理水中の汚れの量は4gなので、従来型との比較でも、倍の処理能力を有することになります。

このように、町では、より環境への負荷の少ない浄化槽を採用することで、きれいな川を後世まで守っていくと努めていますので、同事業での浄化槽の設置促進にご協力をお願いします。

PFI契約先の 下水道サービスが実施

同事業では、PFI手法を導入し、浄化槽の設置業務、維持管理業務、使用料徴収業務を、町が契約する『紀宝町下水道サービス(株)』に業務委託しています。

契約先である紀宝町下水道サービスは、町と住民のみなさんのパイプ役として、町営浄化槽事業の推進に向け、さまざまな推進策による町営浄化槽の設置に努めています。浄化槽設置についてのご相談や見積りなどは、紀宝町下

水道サービス(株)（☎フリーダイヤル0120-6201690）まで、お気軽にお問い合わせください。

なお、同事業での浄化槽設置には、表①の設置にかかる分担金が必要となります。個人設置で設置していたときに比べると、個人の負担額は軽減されていますので、ぜひ、浄化槽の入れ替えをご検討ください。

※BOD（生物化学的酸素要求量）：水中の汚染物質（有機物）が微生物によって無機化されるときに必要な酸素量。

表① 浄化槽設置にかかる分担金の額

浄化槽の種類別	分担金の額
5人槽	165,500 円
7人槽	208,340 円
10人槽	276,800 円
11人槽以上	環境衛生課までお問い合わせください

※分担金には、7条検査費用8,000円が含まれています。

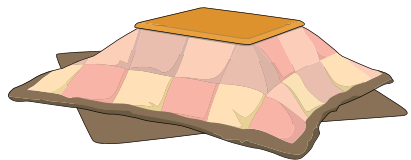
▼詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。

家庭でもできる 温暖化対策

「できることから始めよう」

今月のテーマ こたつ

布団は厚く
温度は低く



設定温度は低めに

設定温度を「強」から「中」に下げた場合
（使用時間：5時間 / 日）

年間削減効果

電気 49.0kWh
CO2 17.1kg

年間節約金額

約 1,080 円

【出典：財団法人省エネルギーセンター／家庭の省エネ大事典】

ワンポイントアドバイス

腰から上の冷え対策が重要

こたつは主に腰から下を暖める暖房器具なので、上半身は寒くなりがちです。カーディガンなどを一枚多めに着込むことがポイントです。

冬の節電は、暖房器具に頼りすぎないことが大切です。普段より一枚多く羽織るなど着るものを工夫したり、家事や仕事の合間にストレッチなどの軽い運動をして冷えを防ぎましょう。

こたつを使うときは、上掛けと敷布団を併用しましょう。エアコンやファンヒーターなど他の暖房器具と一緒に使う場合は温度設定を控えめにしましょう。

▼詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。

お住まいの近くで、役場業務が利用できます

移動支所をご利用ください

表① 1月の移動支所開設日程

ピンク色は、移動図書館も開設

	開設日	会 場	開設時間
月曜日	7日 21日 28日	桐原生活改善センター 平尾井高齢者生産活動センター 大里多目的集会施設 上野農事集会所	9:00~10:15 10:30~11:45 13:30~14:45 15:00~16:15
	8日 15日 22日 29日	浅里生活改善センター 北松杖多目的集会施設 中村多目的集会施設	9:00~10:15 10:30~11:45 13:30~14:45
	9日 16日 23日 30日	阪松原生活改善センター 永田青年クラブ 井田公民館 地下集会所	9:00~10:15 10:30~11:45 13:30~14:45 15:00~16:15
	10日 17日 24日 31日	上地多目的集会施設 下地生活改善センター 茶屋地構造改善センター 下り場集落センター	9:00~10:15 10:30~11:45 13:30~14:45 15:00~16:15
金曜日	4日 11日 18日 25日	高岡老人憩の家 鮎田構造改善センター	9:00~10:15 10:30~11:45

町内17か所で 開設しています

住民票の発行業務などを郵便局に委託するとともに、さらなる住民サービスの充実を図るため、町職員が町内17か所に出向いて、移動支所を開設しています。（表①移動支所開設日程をご覧ください）
お住まいの近くで、役場業務が利用できますので、ぜひご利用ください。

移動支所の業務内容

住民票、印鑑証明、納税証明書などの申請受付事務（交付は後ほど、郵送か職員が直接お届けします）や、町税、国民健康保険税の収納事務、役場への各種届け出事務などを受け付けます。

▼詳しくは、役場税務住民課（☎33-0337）までお問い合わせください。

図書館だより

今日のテーマは
「こんにちはは年
楽しいへびの絵本！」

岸司書
鵜殿図書館



今月のおススメ



さるのせんせいと へびのかんごふさん

穂高順也 / 文 荒井良二 / 絵 ビリケン出版

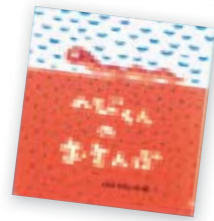
へびのかんごふさんは、
とっても働き者。今日も
動物たちの病気を治すた
めに精一杯働きます。ナ
ンセンス絵本の傑作！



へびかんこうセンター

こじま しほ / 作
文溪堂

へびがカエルの親子を飲
み込んでいる！？いえい
え、こちらはへび観光セン
ター。スリル満点の観光パ
スツアーはいかが？



へびくんのおさんぽ

いとう ひろし / 作・絵
鈴木出版

雨上がり、お散歩に出か
けたへびくんが、道の真
ん中にできた大きな水た
まりを渡ろうとすると…。
心優しいへびくんのお話。



へびのクリクター

トミー・ウンゲラー / 作
中野完二 / 訳 文化出版局

『すてきな三にんぐみ』の
作者による、世界中で愛
されているロングセラー。
親切で勇敢なへびのクリ
クターが大活躍するお話。

◆ 年賀状製本教室 ◆

年賀状をきれいに製本して、すてきな本を作りま
しょう！たくさんのご参加お待ちしております。

日時 2月9日（土）

①午前9時～正午 ②午後1時～4時

場所 図書館2階 研修室

講師 庄司 功さん（元熊野市立図書館員）

定員 ①②ともに各 16 名※申し込み多数の場合は抽選

申込 2月1日（金）までに図書館へ

今日のおはなし会

1月26日（土）

0 歳 児：午前10時～10時30分

1 歳 以 上：午前11時～11時30分

3歳～小学生：午後1時30分～2時30分



◆鵜殿図書館（☎32-4646）

◆利用時間：9:30～18:00

◆休 館 日：毎週月曜日・祝日・毎月最終木曜日

紀宝警察署からのお知らせ

1月10日は「110番の日」

◆事件事故、緊急通報は110番

◆110番する時のポイント

慌てず落ち着いて、次のポイントを要領よ
く通報してください。

- ①何があったのか ②ケガはないか
- ③いつ起きたのか ④どこであったのか
- ⑤犯人の特徴 ⑥あなたの名前

◆携帯電話からの110番

自動車運転中は安全な場所に停止させてから
通報してください。

◆緊急事件・事故以外の相談は紀宝警察署また
は警察総合相談電話「#9110」までお電
話ください。

紀宝警察署（☎33-0110）

ごみは資源のコーナー

油は、絶対そのまま捨てないで！！

廃食油は、凝固剤で固めるか
新聞など紙類や布に浸み込ませ
「燃料ごみ」として出してくだ
さい。台所などにそのまま流す
と、川や海を汚す原因になります。地球環境
を守るため、絶対にしないでください。



ごみ博士 タカミチさん

ワンポイント♪

新聞紙などの紙類を使う場合は、
そのままよりも小さくちぎって
使うとよく浸み込みますよ！

役場環境衛生課（☎33-0338）

消費者トラブルに負けないぞ！！



◆ インターネットショッピングトラブル！

インターネットショッピングは、パソコンの他に携帯電話などからも簡
単に利用でき、さまざまな世代の方に利用されています。しかし、購入前
に実物を見たり手にとったりできないため、イメージと違う、サイズが合
わないなどのトラブルになることがあります。また、注文時の注意書きを
よく読まずに注文し、「返品・交換ができなかった」「お試しのつもりで注
文したのに定期購入になっていた」といったトラブルも発生しています。

【実際にあった事例】

携帯電話のネットショップでコートとブーツ
を購入した。届いたものを身に着けてみると、
通常より小さめに作られているようでサイズが
合わなかった。業者に返品したいと申し出た
が、「返品不可」の特約を理由に返品すること
ができなかった。

【注意】

通信販売にはクーリング・オフ制度がありませ
ん。返品は各々で決められた返品ルールに従った
上で可能ですが、返品不可の表示がある場合は基
本的に返品できないため注意が必要です。面倒で
も契約の詳細な内容や返品のルールについてよく
確認してから申し込むようにしましょう。

◆ 三重県消費生活センター

☎059-228-2212 【月～金・日曜日】午前9時から午後4時まで

▶詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

広報クイズ

抽選で特産品が当たります！

◆問題

- ①門さん。内閣〇〇大臣表彰受賞！
- ②菊地弁護士による〇〇〇問題講演会開催
- ③出会い〇〇イベントを開催！
- ④ごみは資源。〇は絶対そのまま捨てないで！
- ⑤新コーナー「写真で振り返る 〇〇物語」

◆応募資格 紀宝町内に在住の方

◆応募方法 ハガキかメール（koho@town.kiho.lg.jp）
で、クイズの答え5問分（〇の中に入る数字や文字）
と、住所、氏名、年齢、電話番号、町や「広報きほう」
についてのひと言を書いて、役場企画調整課広報係
（〒519-5701 紀宝町鵜殿324）まで応募してくださ
い。正解者の中から、抽選で5名の方に、右写真の「町
の特産品」をお贈りします。

◆締め切り

1月15日（火）必着
※当選者は、来月号の
このコーナーで。

■12月号の正解

①自殺 ②中能登 ③16 ④復興 ⑤電子

■12月号当選者

（応募総数33通・正解者31人 賞品は「無添加 玄米酢」）
濱前 三恵さん（鮎田）、上野 登さん（成川）
下地 砂登子さん（成川）
岸 典子さん（井田）
上家 栄子さん（鵜殿）

▶詳しくは、役場企画調整課
広報係（☎33-0334）まで
お問い合わせください。

1月号の当選者へは



干物セット
（写真はイメージです）



koho@town.kiho.lg.jp

今月のお料理

フワフワもちもち♪

「お好み焼き風 焼き餅」

今月は、お正月のお餅を使ったお好み焼き風の料理をご紹介します。

この料理は、蒸し焼きにすることで油が少なく調理ができるためエネルギーが抑えられ、野菜や卵と一緒に食べられるので栄養バランスもよくなり、満足感が得られて食べ過ぎ防止にもつながります。お正月は食生活が乱れたり、食べ過ぎてしまう傾向にあるため、注意しましょう♪

【材料（1人分）】

切り餅	2個
卵	1個
人参	1/8本
キャベツ	大1枚
水	大さじ2
ごま油	小さじ1/2
白ねぎ	お好みで
ぼん酢しょうゆ	大さじ1

【作り方】

- ①キャベツ、人参は千切りにする。
- ②ボウルに溶き卵、①、水を加え、よく混ぜる。
- ③ホットプレートまたはフライパンにごま油を熱し、お餅を並べ、フタをして中火で焼く。
- ④お餅全体が軟らかくなってきたら、②と刻んだねぎを乗せ、フタをして再び蒸し焼きにし、両面を焼く。
- ⑤全体に火が通ったら、火を止め、器に盛る。上からぼん酢しょうゆをかけて、出来上がり☆

エネルギー（1人分）：約 350kcal
塩分：約 1.5 g



お餅料理の応用編!!

管理栄養士
寺澤 博子

今月のテーマ

授乳中は、赤ちゃんの顔を見て!!

赤ちゃんは、生まれた時から目は見えていますが、はっきりとはなく、焦点がぼやけてぼ～と見えるぐらいです。視力にすると0.01くらいで、30cm前後の距離が見えやすいと言われています。

授乳時、赤ちゃんはお母さんの顔が見やすい状態なので、笑顔で語りかけながら接することで、赤ちゃんの安心と情緒面発達につながります。

最近、授乳中に赤ちゃんの顔を見ず、携帯電話を見て操作しているお母さんを見かけることがあります。テレビや携帯電話に気をとられていると、赤ちゃんが発するサインに気づかず、反応がおろそかになってしまいます。親が反応しないと、赤ちゃんは徐々に自分の気持ちを発しなくなるかもしれません。抱っこをしているときや、授乳中には、赤ちゃんの目をみて語りかけたり、笑いかけるように心がけましょう。



今月は
垣内和美保健師

今月のテーマ

「8020 賞」「歯っぴいスマイル賞」表彰

11月25日に開催された健康まつりで、「8020 賞」および「歯っぴいスマイル賞」の表彰が行われました。

★ 8020 賞（ハチマルニイマル）

この賞は、80歳以上で自分の歯が20本以上ある方が表彰されるもので、今回8人の方が表彰されました。「パリパリ」「コリコリ」と何でもおいしく食べられるということは、きっと毎日の生活で欠かせない楽しみだと思います。秘訣は、少し気になるころがあればすぐにかかりつけの歯医者さんにかかることだそうです。私たちも見習いたいものです。どうぞ、これからもお元気で若々しい生活を続けてください。

★ 歯っぴいスマイル賞

この賞は、来年小学校に入る年齢でむし歯が1本もないお子さんが表彰されるものです。問診によると、おやつは「時間を決めて食べる」、よく飲む飲み物は「お茶、水、牛乳」などと、答えているご家庭が多いようです。乳歯は、5歳前後から12歳頃までかけてゆっくり少しずつ永久歯へと生え変わります。むし歯が見つかったお友達も早く治して、12歳で永久歯のむし歯ゼロ目指してがんばろう!



今回は8人が受賞されました。最高齢は91歳の尾崎益雄さんで、自分の歯は22本あります。



今回15人が受賞されました。ちょっと緊張していますが、笑顔がとっても素敵な5歳児です。

1月の健康カレンダー

元気塾（介護予防事業）

日	会場と開催時間
9日	平尾井高齢者生産活動センター（午前9時30分～11時30分）

※ 要予約：詳しくは、紀宝町地域包括支援センター（☎33-0175）まで。

貯筋運動（イスに座ってできる簡単な運動です）

日	会場と開催時間
11・18・25日	保健センター（午後0時30分～2時30分）

※ 要予約：詳しくは、紀宝町地域包括支援センター（☎33-0175）まで。

“ちゃれんじ”健康づくり教室（介護予防事業）

日	会場と開催時間
16日	中村多目的集会施設（午前10時～11時30分）

※ 要予約：詳しくは、紀宝町地域包括支援センター（☎33-0175）まで。

子どもとお母さん（会場 紀宝町保健センター）

日	内容と開催時間
22日	すくすく育児相談（午前9時30分～11時30分）

※ 要予約：詳しくは、保健センター（☎32-3700）まで。

1月の休日救急当直医

日	病院名	内科・外科
6日	池口内科	☎(21)6678 内科
13日	山口クリニック	☎(31)8052 外科
14日	玉置整形外科	☎(22)6172 外科
20日	井畑医院	☎(31)7029 内科
27日	湊口医院	☎(31)6660 内科
日・祝	紀南医師会 応急診療所	☎0597(88)1001 内科

※ 変更する場合がありますので、確認のうえ受診してください。
※ 診療科目が異なる場合は、三重県救急医療情報センターコールセンター（☎0597-89-1199）にご相談ください。

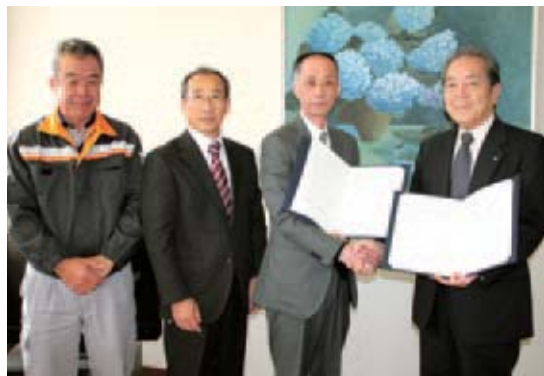
避難所等の緊急調達に即応できる燃料LPガス

災害時にガス供給の協定を締結

町と三重県エルピー（L P）ガス協会紀南支部は、「災害時におけるL Pガス等の調達に関する協定」を締結し、その調印式が12月6日に町役場で行われ、寺前英郎支部長と西田町長が協定書を交わしました。

この協定で、災害時に避難所等の緊急調達に即応できる燃料であるL Pガスの調達について取り決めを行い、要請に応じて速やかにガスを供給してもらうことができる体制が整いました。

また、県内各支部の義援金で購入した、ガスを燃料に900ワットの電力を発電できる「低圧L Pガス発電機」と、1回に最大120人分のご飯と汁物が同時に調理できる「炊き出しステーション」が寄贈されました。



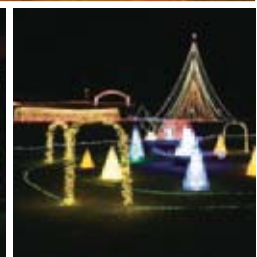
協定書を交わした寺前支部長（右から2番目）と西田町長

Town topics

12/6



02



01

紀宝町の冬の風物詩

光の祭典 in 紀宝が2年ぶりに復活 !!

紀宝町の冬の風物詩である「第11回光の祭典 in 紀宝」が開催され、12月1日から1月5日までの約1か月間、ふるさと資料館前広場がイルミネーションでライトアップされています。

昨年は、台風第12号の影響でイルミネーションに使う電球や道具が浸水してしまったことなどにより中止を余儀なくされましたが、2年ぶりの開催となる今回は、「元気やで！紀宝町」をテーマに、約15万球の色とりどりのイルミネーションが光輝いています。

12月1日の点灯式には、町内中学生を対象にしたスクリーンデザイン画コンテストの表彰式も行われました。応募47点の中から金賞に木下葉月さん（矢渕中）、銀賞に佐田美鈴さん（相野谷中）、銅賞に林未夢さん（矢渕中）が選ばれ、古屋敷会長から表彰状が贈られました。

大晦日、元旦、1月2日の3日間はオールナイト点灯（18時から翌日5時まで）を行います。山間の闇夜に光輝くイルミネーションは、都会にはない幻想的な世界を作り出します。ぜひご来場ください。

Town topics

12/1~5

01.12月23日までの土・日限定で行われていた「シャボン玉イルミネーション」に子どもから大人まで大喜び。02.光のトンネル。03.スクリーンデザインコンテストの入賞者。左から木下さん、林さん、佐田さん。



02



01

Town topics

11/25



06



05



04



03



07

01.大腸がんの早期発見を啓発するコーナー。02.オープニングを飾った健康体操ウミガメビクス。03.体力測定。04.友の会による健康食品販売コーナー。05.保健師による介護予防コーナー。06.歯科健康診査。07.黒坂さんと矢口さんによるコンサート。

心身の健康を取り戻すために

健康まつりで健康への意識を高める

「第5回紀宝町健康まつり」が11月25日、保健センターと福祉センター（神内）の2会場で開催されました。今回のメインテーマは「心と体の健康チェックと健康生活」で、紀伊半島大水害からの復興を目指し、健康な生活を取り戻してもらうことを目的に企画されました。

会場では、がん検診や特定健康診査、骨粗しょう症予防検査、歯科健康診査、血管年齢や体力の測定があったほか、がん予防や禁煙、介護予防などの啓発コーナーがずらりと並びました。また、町食生活改善推進協議会による健康料理の試食、栄養士による相談など、食に関するコーナーもあり、訪れた人たちはバランスのとれた食生活の重要性を学んでいました。

午後からは、コカリナ奏者の黒坂黒太郎さんと矢口周美さんによるコンサートと、アテネオリンピック体操金メダリストの水鳥寿思さんによる講話が開かれました。

東紀州の国道42号を舞台に撮影

映画「ROUTE42」先行上映会

東紀州を舞台に撮影された映画「ROUTE42」の先行上映会が11月22日、まなびの郷で昼と夜の2回開催されました。

この映画は、3人の若者が国道42号を南下しながら、生きることの大切さを見だしていくストーリーで、高岡蒼祐さんと菊地亜希子さんが主演をつとめています。来年3月から全国公開される予定です。

上映会では、瀬木直貴監督と主演の高岡さんが登場し、舞台あいさつが行われ、映画をPRしていました。

Town topics

11/22



舞台あいさつをする瀬木監督（右）と主演の高岡さん（左）



Town topics

12 / 15

01. サンマや太刀魚など旬の魚が勢ぞろい。02. 会場は多くの方でにぎわいました。03. みかんやマイヤーレモンなど農産物もずらりと。04. ふるまい鍋も大好評。05. オープニングを飾りテープカットが行われました。06. ふるまい鍋の豚汁。

地元の恵みがたくさん

毎月第3土曜日は「紀の宝みなと市」

紀の宝みなと市実行委員会は12月15日、鵜殿港で第1回目となる「紀の宝みなと市」を開催しました。

紀の宝みなと市は、町内に集客を図り、地域活性化と地産地消の推進を目的に開催されたもので、会場には17店舗が並び、鵜殿港で水揚げされた魚介類や町で収穫された農産物、作りたてのお弁当などが多数販売されました。開店前から長蛇の列ができるなど町内外から多くの客が詰めかけ、開店早々に売り切れる店舗が続出しました。

今後は、毎月第3土曜日に鵜殿港で開催され、次の開催は1月19日です。これからもさまざまな商品が並ぶ予定ですので、足を運んでみてはいかがでしょうか。



02



01

次世代を担う子どもの文化芸術体験事業

相野谷中学校 伝統芸能「能楽」に触れる

相野谷中学校は11月27日、文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」の一環で、伝統芸能の能「安達原」を鑑賞しました。

これは、優れた舞台芸術を鑑賞することで、子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的に行われているもので、10月12日には事前に能を学び体験するワークショップが行われました。

同中学校の体育館には本格的な舞台が設置され、生徒たちは伝統文化の「能楽」に触れ、目の前で行われる迫力ある舞台に真剣な表情で見入っていました。

Town topics

11 / 27

01. 能「安達原」。鬼を法力で折り伏せようとする様子。02. 相野谷中学校34人とともに、相野小学校5・6年生26人も一緒に鑑賞しました。



会員ら約400人が参加

老人福祉大会開催 功労者らを表彰

紀宝町老人クラブ連合会主催の第7回老人福祉大会が11月29日、まなびの郷で開催され、会員ら約400人が出席するなか、優良老人クラブや老人福祉功労者らが表彰を受けました。

物故会員に全員で黙とうをささげた後、西田町長が大正11年生まれの90歳43人に長寿の記念品を贈呈。老人福祉功労者の野中誠一さん（大里）に紀宝町長賞、阪口幸三さん（鵜殿）ら12人に同連合会長賞が授与されました。また、優良クラブ会員6人も表彰されました。

続いて、第2部の演芸会では、うどの幼稚園の園児や、同連合会踊り教室の有志、成川高砂会、鵜殿ばやし保存会らが踊りを披露しました。



04

Town topics

11 / 29

01. 90歳を迎えた会員に記念品を贈呈。02. 連合会長表彰のみなさん。03. 町長表彰を受ける野中さん。04. お年寄りに元気を贈るうどの幼稚園児。



01

うどのまつりと併せて、2年ぶりに開催

鳥止野神社例大祭が行われる

鵜殿地区の鳥止野神社で11月23日、例大祭が行われました。昨年は、水害で町内が大きな被害を受けた影響で、神事だけの斎行となりましたが、今年は2年ぶりに奉賛行事が行われました。

また、例大祭に併せ「うどのまつり」が開催され、船型の山車に、鵜殿青年会の5人が乗り込んで音頭をとり、子どもらが先導して地区内を練り歩きました。

神社では、浦安の舞の奉納に続き、青年ら20人ほどが担ぐ神輿が出発し、ふれあい会館裏の平嶋海岸では、神輿が海に入る「禊ぎ」の神事が行われ、見守る住民らから歓声が上がっていました。

Town topics

11 / 23

01. 平嶋海岸では、神輿が海に入る「禊ぎ」の神事が行われました。



1月生まれ



【募集】満3歳の誕生日を迎える子ども（平成22年3・4月生まれ）を募集しています。ご希望の方は、広報係（☎33-0334）までご連絡ください。申込期限は1月31日（木）まで。



なかせこだいと
中瀬古 大斗くん（鵜殿）

平成22年1月26日生まれ
力さん & 理子さんの長男



おおたひなと
大田 斐南斗くん（鵜殿）

平成22年1月19日生まれ
講平さん & 渚さんの長男



にししょうた
西 翔太くん（鵜殿）

平成22年1月28日生まれ
正人さん & 昌代さんの次男



ひしまみひろ
疋嶋 美拓ちゃん（神内）

平成22年1月12日生まれ
泰弘さん & 春奈さんの長女



たおしんのすけ
田尾 心之輔くん（神内）

平成22年1月22日生まれ
和也さん & 実江さんの長男



まつもと はるま
松本 遙真くん（阪松原）

平成22年1月30日生まれ
孝仁さん & 咲恵さんの次男



光の祭典に参加して

森溝 和也 さん（鵜殿）

私は紀宝町商工会青年部に入っており、今は副部長をやっています。このペンリレーも、笹谷部長から、「次号は森溝副部長で決定しているから」と言われ、そんな部長からの無茶振りを断ることができずに、今回は書くことになりました。

さて、何を書くのかな？と思いつきながら、台風12号で被災したこと、青年部での活動のことなど、色々悩みましたが、（青年部員からは、「婚活だ！嫁募集だ！」と言われましたけど）とりあえず最近の話題で、田代のふるさと資料館で開催していたイルミ



ネーションはどうでしたか？見られましたでしょうか？

私は光の祭典in紀宝実行委員会にも参加していました、毎年イルミネーションの設営作業を行っています。メンバーは民間と役場の有志スタッフで、地域を元気づけるイベントになればと、11月の毎週土日を使って作業を行い、12月1日から翌年1月5日まで点灯しています。

昨年は、台風12号災害の影響で中止となり、今回は2年ぶりの開催となったので、どの程度出来るのだろう？スタッフは集まるだろうか？そんな不安を感じての作業でしたが、やはり仕事が忙しくて来られないスタッフも多かった様で、作業は思うようには進まずに、点灯直前まで苦労しました。私も、少ししか作業に行けなかったので、申し訳なかったです。

この光の祭典in紀宝に参加していて、「今から見に行くんやけど、何時まで点灯してるん？」「今年も綺麗で良かったよ〜」などと、このイルミネーションを楽しみにして、声をかけてくださる方も増えて来たので、とてもありがたき思います。

毎年、実行委員会では、少しでもスタッフを増やそうと話をしているのですが、なかなか人集めには苦労しています。是非、協力してくれる方がいれば、作業のお手伝いをよろしく願います。

2月号は鵜殿の竹野哲也さんです。森溝さんからは、「商工会青年部での活動、ありがとうございます。これからも楽しくがんばっていきましょう。」

保育士が夢でした♪

中森 めぐみ さん（鵜殿・25歳）

◆お仕事は？

飯盛保育所で勤務しています。保育士になったきっかけは、私が子どものころ面倒をみてもらった保育所の先生が大好きだったからです。今は、その先生と一緒に働かせてもらっています。保育士のやりがいは、子どもたちの成長を間近で見られるところですね。

◆趣味は？

買い物です。洋服や雑貨をよく買に行っています。あと、週に2〜3回、バレーボールをやっています。

◆旅に行くとしたら？

沖縄に行つてみたいです。青い海が見たいし、そこでダイビングをしてみたいです。

◆理想のタイプは？

明るくて、優しく、頼りがいがある人が好きです。

◆今、はまっていること

友達と温泉めぐりをする事です。

◆町の好きなところ

自然が豊かなところです。あと、空気が澄んでいるので、星がきれいにみえるところが好きです。





1月号

町の人口 - population -	
平成24年11月末現在（前月比）	
人口	11,907 (+16)
男	5,595 (+11)
女	6,312 (+5)
世帯	5,401 (+7)
(外国人を含む)	

主な電話番号 - telephone -	
役場総務課	(33)0333
役場企画調整課	(33)0334
役場総務課(防災対策)	(33)0335
役場産業建設課	(33)0336
役場税務住民課	(33)0337
役場環境衛生課	(33)0338
役場福祉課	(33)0339
役場出納室	(33)0340
教育委員会	(33)0341
議会事務局	(33)0342
役場環境衛生課(水道)	(33)0343
地域包括支援センター	(33)0175
保健センター	(32)3700
相野谷診療所	(34)0011
鵜殿図書館	(32)4646
まなびの郷	(32)0241
神内福祉センター	(32)2023
鵜殿福祉センター	(32)0957
熊野自殺防止センター	05979-2-2277
【毎週金・土曜日 午後7時から11時まで】	
防災行政無線(フリーダイヤル)	
0120-334-119	
おかけ間違いのないように！	



今月のワンコ

モモ

まどぐち国民年金

◆国民年金保険料は 社会保険料控除の対象

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・住民税の社会保険料控除の対象となります。

社会保険料控除として申告する場合、11月に送付された1月1日から12月31日までに納付(納付見込みを含む)した国民年金保険料の額を証明する書類の添付等が必要です。また、年の途中から国民年金に加入した場合など、10月1日から12月31日までの間に初めて保険料を納付する方については、2月上旬に同様の証明書が送付されます。

▼詳しくは、役場税務住民課 国民年金係(☎33-0337)までお問い合わせください。

1月の尾鷲年金事務所の職員による年金相談は、1月16日(水)午前10時から午後2時まで、役場2階小会議室で行いますので、ご利用ください。

紀宝町人権講演会を開催

町教育委員会は、次のとおり人権講演会を開催します。入場無料です。ぜひ、ご来場ください。

【日時】 1月27日(日)、午後1時30分開場、午後2時開演
【場所】 まなびの郷
【講師】 佐野 有美さん
【テーマ】 私が「あきらめな

い心」を語るなら「マイナスをプラスにして努力する」
▼詳しくは、まなびの郷(☎32-0241)までお問い合わせください。

蜜蜂飼育届の対象者が拡大されました

養蜂振興法の改正に伴い平成25年1月1日から、蜜蜂飼育届の対象者が拡大されました。今まで対象となっていた養蜂業者に加えて、趣味で養蜂をされている場合も飼育条件によつては届出対象となります。
【届出対象】 養蜂業者もしくは反復利用が可能な蜂房を利用して蜜蜂の飼育を行う者(反復利用可能な蜂房：巣枠式巣箱など)

【受付期間】 随時受付
【手数料】 無料

▼詳しくは、熊野農林商工事務所農政・普及室農業振興課(☎0597-8916120)までお問い合わせください。

糖尿病予防啓発講演会を開催

紀南健康長寿推進協議会は、「糖尿病予防啓発講演会」を次のとおり開催します。

講師には、東京女子医科大学常務理事・名誉教授の岩本安彦氏をお招きし、「糖尿病と上手につき合い元気で長生き」をテーマに講演していただきます。入場は無料ですが、事前申し込みが必要です。1月25日(金)ま

でに保健センターまでお申し込みください。

【日時】 2月2日(土) 午後1時30分～3時30分
【場所】 熊野市文化交流センター(熊野市駅横)
【講師】 東京女子医科大学 岩本安彦氏
▼詳しくは、保健センター(☎32-3700)までお問い合わせください。

高血圧予防教室のお知らせ

紀宝町における一人当たりの医療費の順位第1位は高血圧です。高血圧の原因は、生活習慣の乱れや喫煙であり、高血圧が続くと脳卒中や心筋梗塞などを引き起こす可能性が高くなるため、予防が大切です。

そこで、喫煙している方、ご家族が高血圧など、血圧が気になる方を対象として「高血圧予防教室」を次のとおり開催します。当日は講義のほか、お味噌汁の試飲や尿検査、血圧測定を行います。ぜひご参加ください。事前申し込みが必要です。1月11日(金)までに保健センターまでお申し込みください。

日曜・無料遺言公証法律相談を開催

新宮公証役場では、「日曜・無料遺言(公証法律相談)」を実施しています。

【日時】 1月20日(日) 午前9時から午後5時まで
【場所】 新宮公証役場
【相談員】 公証人中村司氏
【相談内容】 遺言、相続、離婚、子の養育費、年金分割、慰謝料、財産分与、家族の扶養、任意後見(高齢者等の財産管理)、土地建物の賃貸借、など
【その他】 電話で予約してください。また平日の相談もご利用ください。相談はすべて無料(秘密厳守)です。
▼詳しくは、新宮公証役場(☎21-2344)までお問い合わせください。

笑顔の写メールコンテスト入賞者発表

今年も、とても素敵な笑顔がたくさん集まりました。昨年を超える200人の方から投稿があり、こちらまで笑顔にさせてくれる、新年を飾るにふさわしい表紙になったと思います。投稿してくださいましたみなさん、本当にありがとうございました。

ご応募いただいた方の中から、厳正なる審査の結果、特に素敵な写真として下記の方々が入賞されました。おめでとうございます。入賞者のみなさんには後日、町の特産品をお送りさせていただきます。

☆特選 (特産品5千円分)
平石 明奈さん(井田)、大山啓子さん(鵜殿)、小鷲愛視さん(井田)
☆入選 (特産品1千円分)
逢野有か里さん(鮎田)、植地珠希さん(鵜殿)、南 友也さん(井田)
大石真友美さん(鵜殿)、上野英信さん(鵜殿)、尾崎 剛さん(鵜殿)
上前田ゆり子さん(神内)、林 知加さん(成川)、中谷亜弥さん(井内)、谷口愛弓さん(成川)



特：特選 入：入選

紀宝町下水道サービス株式会社



浄化槽のご相談は
フリーダイヤル
0120-620-690
紀宝町鵜殿1375番地1
TEL: 0735-33-0360 (代)
FAX: 0735-33-0365
HP: http://www.pfi-kiho.jp/

石本果樹園

謹賀新年

～季節折々のみかんを全国発送します～
9時～17時・(定休日)日曜日

電話・FAX 0735-32-1403

作業日記を、毎日、更新しています！見てね♪

石本果樹園 検索 (http://www.zc.ztv.ne.jp/isimoto/)



有料広告

今昔物語

鵜殿貯木場

平嶋交差点付近



昭和初期



現在

今月号から始まりました新コーナー「写真で振り返る 今昔物語」。

ここでは、長い歴史の中で紀宝町がどのように変化してきたのかを、昔の写真で振り返ってみようと思います。おじいちゃん・おばあちゃんには懐かしく思えるでしょうし、写真の時代を知らない世代の人たちには、驚きの事実があるかもしれません。懐かしの昔の写真と、現在の写真を比べながら、タイムスリップの旅に出かけましょう。

◆鵜殿貯木場

写真は昭和初期の頃で、場所は平嶋交差点付近です。真ん中を走っている道は国道42号で、左へと曲がる角度が現在と同じなのが見て取れます。奥には鵜殿駅があり、国道の左側は辺り一面貯木場となっていました。中島には、諸手船置場がありました。現在では、想像もつかない光景ですね。

— 昔の風景写真を募集します —

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。

本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、紀宝町HPまたは役場企画調整課広報係（☎33-0334）までお問い合わせください。

ひやうたんや

笑う門には福来る

あけまして、おめでとございます。本年も広報きほうをよろしく願います。

今年も新年を笑顔で迎えるべく、200人もの素敵な笑顔で表紙を飾っていただきました。投稿してくださったみなさん、本当にありがとうございます。今年もみなさんにとっていい年でありますように。

新コーナー「今昔物語」

今月号から上記の新コーナー「写真で振り返る 今昔物語」が始まりました。長い間考えていた企画で、きっかけは、おばあちゃんの家で見た昔の写真でした。自分が住んでいるところなのに知らないことばかり。歴史を知ることとはとても大切ななと思いました。今後、このコーナーでは、おじいちゃん、おばあちゃんに昔の話を伺っていたらと思うています。ご自宅に眠っている写真がありましたら、ぜひ広報係竹鼻までご連絡ください。

追伸・新コーナーが始まりましたが、珍百景のコーナーが終わったわけではありません。もし、珍しいものを見つけた際は、以前と同様、ご連絡お待ちしております。

イルミネーションがついに完成

広報きほう10・11月号のひとりで書くことでも書かせていただいたイルミネーションがついに完成しました。今回も細かな部分までかなりこだわっています。胸や耳の微妙な膨らみ具合をはじめ、胸のマークや爪などの大きさ角度に至るまで、誰も気づかないようなところも忠実に再現しています。

1月5日(土)まで、ふるさと資料館前の広場に飾ってあります。写真とは違い、実際に現物を見るのは、感じるものが全然違うと思います。ぜひ会場に足を運んでいただき、ご覧ください。

(今年もいろいろ企画 竹鼻康)

